

表-1 恵迪寮史年表（その1）

	恵迪寮・北大に関する事項	社会等の事項
1872		開拓使仮学校開設（黒田次官廃校断行、翌年再開）
1875	札幌農学校開設	
1876	玄武丸で品川から小樽へ（クラーク、黒田清隆、生徒一行） クラーク開校式で演説 寄宿舎は宿直制で一切を監督、居室の概要*→	*（2人部屋で約12畳の板間、共用の大戸棚、机、椅子、ランプ、畳一枚を敷いたベッド2台、ストーブ（燃料は薪））
1880	札幌農学校第1回卒業式	
1882	開拓使廃止に伴い、農学校は農商務省所管となる	
1885		太政官制廃止、内閣制度スタート
1886	農学校、北海道庁へ移管 「札幌農学校官制」（勅令）制定、舎監制始まる、（宿直員配置）	
1894		「遠友夜学校」設立 日清戦争
1895	農学校、文部省へ移管、舎監制となる	
1897	寄宿舎「舎則」制定	
1898		「札幌農学校拡張意見書」提出 この頃、札幌は人口3万の街となる
1899	「寄宿舎規約」、校舎の移転に伴う寄宿舎移転案決定	
1904		日露戦争
1905	寄宿舎移転、佐藤校長舎生一同に訓示、（スチーム暖房）	
1907	「恵迪」の名称決る、自炊制となる	東北帝国大学農科大学開学
1909		古河講堂出来る
1912	寮歌「都ぞ弥生」誕生	
1913	「不徳義漢事件」（寮生の一人が芸者買をした新聞報道による） 農科大学講師有島武郎、寄宿舎係となる	
1914		第1次世界大戦始まる
1915	寮歌集出版・配布	
1918		米騒動
1919	北海道帝国大学農学部設置 北海道帝国大学医学部設置	
1924	北海道帝国大学工学部設置 以降予科生のための寮となる、気風一変	
1925	開寮20周年、寮生231名（3年目42、2年目86、1年目103） この頃、寮の評判、すこぶる悪くなった （学校との協調、飲酒、ストームなど）	治安維持法
1926	本学創基50周年、寮の炊務自治制を請負制に戻す	
1928	東北の高校にならい寮旗をつくる	文武会事件で全学ストライキ

表-1 恵迪寮史年表（その2）

	第90期委員会（委員総数11名）	治安維持法改正、特高警察、満州事変起こる
1929	寮生章決まる 寮史編集決定	
1930	北海道帝国大学理学部設置	
1931	寮移転決定、閉寮記念メダル 竣工（閉寮8ヶ月）、（第2代目恵迪寮誕生）	
1932	<2代目恵迪寮スタート> 寮生申合規約一部改正	北大赤化事件（67名検挙） 5.15事件
1933		京大滝川事件
1936	落第生退寮問題、入寮銓衡問題	陸軍大演習（農学部が大本営・行在所）、2.26事件
1937		盧溝橋事件（日中戦争へ）
1938	集団勤労奉仕（アルバイト・デーンスト）	
1939	防空演習（燈火管制） 初代総長佐藤昌介大学葬	
1940		大政翼賛会発足
1941	講義欠席委員が多いので注意される、部室割制定論議、申合規約に綱領を明記、記念祭公開不可、検閲	第2次大戦に突入 文武会、報国会へ、市内下宿難（150戸から50戸にへる）
1942	委員会制→幹事会へ（幹事の錬成合宿） 勅令をもって修学年限を6ヶ月短縮	ミッドウェイ海戦 東条首相来学、訓示
1943	食糧不足のため学内の緑地が耕地化（菜園） 畜産園芸部復活、豚の命名、食堂に神棚、寮に拡声器設置	学徒出陣
1944	予科生援農に動員 本州工場へ動員（3ヶ月）	サイパン陥落、神風特攻隊出撃 沖縄に米軍上陸
1945	援農、軍需工場あわせて200名の動員あり	ポツダム宣言受諾、玉音放送
	9月宇野先生より訓示、法文学部設置	
1946	盗難事件頻発、門限、消燈ルーズになる	予科新館（今の本部）米軍接收
1947	委員会制に戻る、迎春全寮コンパ（清酒1合づつ）	
1948	委員が殆んど登校できないような自治組織のあり方について（明峯先生）	
1949		新制大学発足（駅弁大学の蔑称）
1950	法文学部が文学部と法経学部に	レッドページ、朝鮮戦争
1952	「都ぞ弥生」歌碑	サンフランシスコ講和、白鳥事件
1953	北海道大学寮規則制定（2月） 北海道大学恵迪寮自治会規約（5月）	
1956	開基80周年	
1960		安保改定をめぐり国内沸騰
1961		浅沼刺殺事件、三池闘争

